

海津市コミュニティバス利用状況

I 総利用者数と推移

1. 総利用者数

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）1 年間の総利用者数は、110,051 人であり、再編前 1 年間の利用者数 136,481 人と比べ、19.4%減少しています。

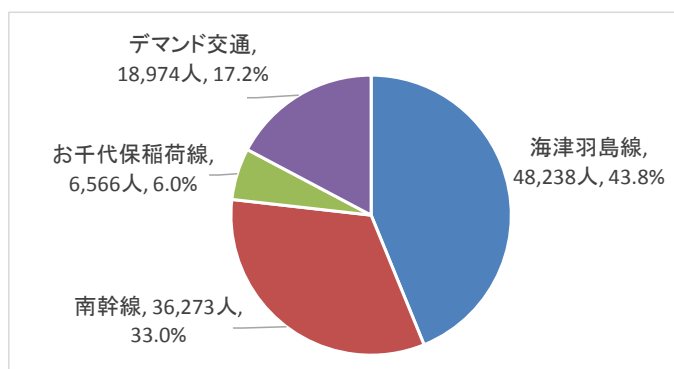
これは、定時定路線からデマンド交通への移行に際して、土日祝日が運休となっていること、及び定時定路線を利用していた高校生の利用減が主な要因と思われます。なお、平成 27 年 10 月からの再編時に運賃を値上げしたことも影響しているものと思われます。

平成 28 年度の路線別利用者数は、定時定路線の海津羽島線が 48,238 人（43.8%）、南幹線が 36,273 人（33.0%）、お千代保稲荷線が 6,566 人（6.0%）であり、これら 3 路線で 91,077 人、82.8%を占めています。

表 年間の総利用者数の比較

	①再編前 1 年間 H26 年 10 月～ H27 年 9 月	②再編後 1 年間 H27 年 10 月～ H28 年 9 月	③平成 28 年度 H28 年 4 月～ H29 年 3 月
総利用者数	136,481 人	113,117 人	110,051 人
指数（対①）	1.00	0.829	0.806
備考	キッズを除く		

図 平成 28 年度 路線別利用者数



※平成 28 年度は、平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

2. 利用者数の推移

(1) 総利用者数の月別の変化と前年度との比較

平成 27 年 10 月から平成 29 年 3 月の月別総利用者数は下図の通りです。入社・入学期の 4 月～6 月までは増加し、7 月～9 月及び 1 月～3 月は学生の長期休暇等で減少しています。

平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月の総利用者数を前年度と比較すると、6 か月間で平均 5.8% 減少しています。

図 総利用者数の月別推移（平成 28 年度）

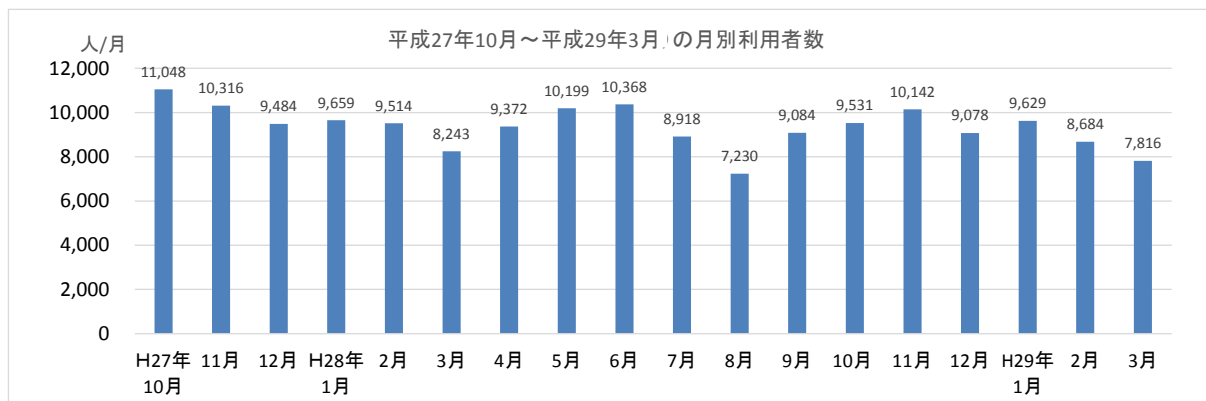


表 総利用者数の前年度比

	総利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28 年 10 月	9,531	-13.7%
11 月	10,142	-1.7%
12 月	9,078	-4.3%
H29 年 1 月	9,629	-0.3%
2 月	8,684	-8.7%
3 月	7,816	-5.2%
平均		-5.8%

(2) 路線別の推移

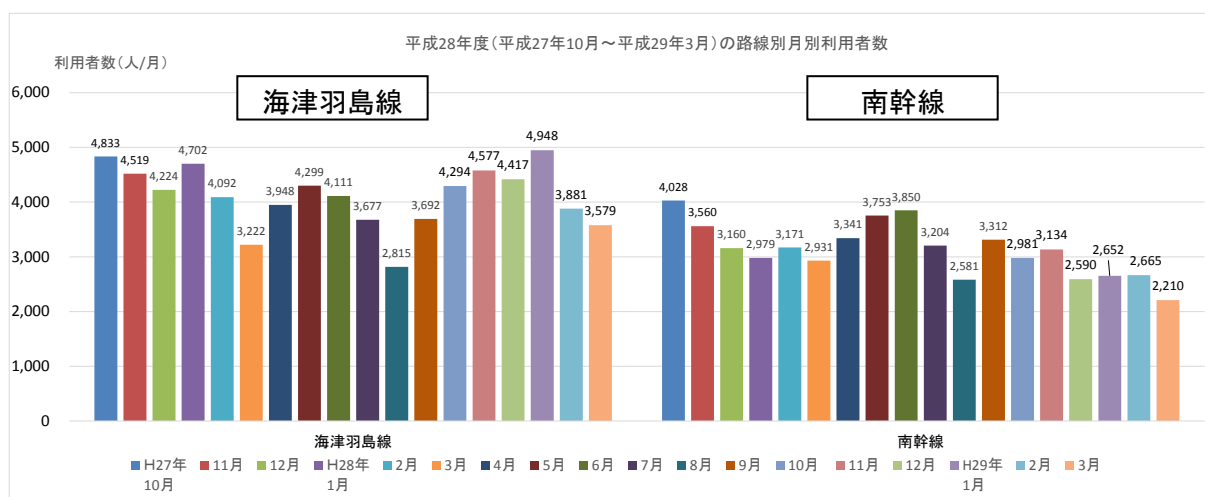
海津羽島線は、通勤通学利用が多いため、月によって大きく変動しています。平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月の利用数を前年度と比較すると、月によって変動があり、6 か月間の合計では、微増となっています。

南幹線は、通勤・通学のほかに海津温泉利用等があるため、月別の変動はやや小さくなっています。6 か月間の対前年度比は 20%前後の減少となっています。

お千代保稲荷線は、通学利用があるため月別の変動があり、6 か月間の対前年度比は平均 7.3%減少しています。

一方、デマンド交通の利用者数は増加傾向であり、6 か月間の対前年度比は 4.0%増になっています。

図 路線別の月別推移（平成 28 年度）と対前年比



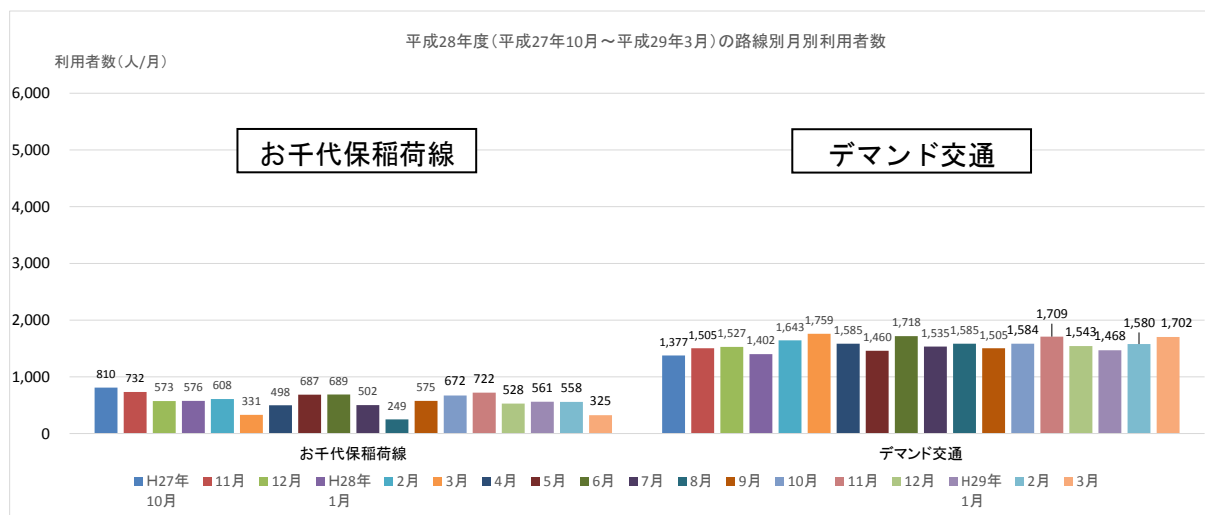
海津羽島線

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	4,294	-11.2%
11月	4,577	1.3%
12月	4,417	4.6%
H29年1月	4,948	5.2%
2月	3,881	-5.2%
3月	3,579	11.1%
平均		0.4%

南幹線

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	2,981	-26.0%
11月	3,134	-12.0%
12月	2,590	-18.0%
H29年1月	2,652	-11.0%
2月	2,665	-16.0%
3月	2,210	-24.6%
平均		-18.1%

※平均は、6 か月間の合計の対前年比（以下同様）



お千代保稲荷線

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	672	-17.0%
11月	722	-1.4%
12月	528	-7.9%
H29年1月	561	-2.6%
2月	558	-8.2%
3月	325	-1.8%
平均		-7.3%

デマンド交通

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	1,584	15.0%
11月	1,709	13.6%
12月	1,543	1.0%
H29年1月	1,468	4.7%
2月	1,580	-3.8%
3月	1,702	-3.2%
平均		4.0%

3. 鉄道駅バス停の利用者数

コミュニティバスと鉄道との乗継等の状況を把握するため、鉄道駅バス停の乗降者数等を整理しました。

(1) 鉄道駅バス停の乗降者数の推移

再編後において前年度との比較が可能な平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月の期間について、海津羽島線・南幹線・お千代保稲荷線の駒野駅・石津駅・岐阜羽島駅バス停の乗降者数及び前年度比を下表に整理しました。

3 駅バス停合計では、6 か月間合計で 4 % 減少しています。

駒野駅は前年度とほぼ同じです。石津駅は 30% 増となっており、海津羽島線の延伸・石津駅接続の効果と思われます。岐阜羽島駅は 10% 減少しており、朝夕の通勤・通学利用の減少によるものです。

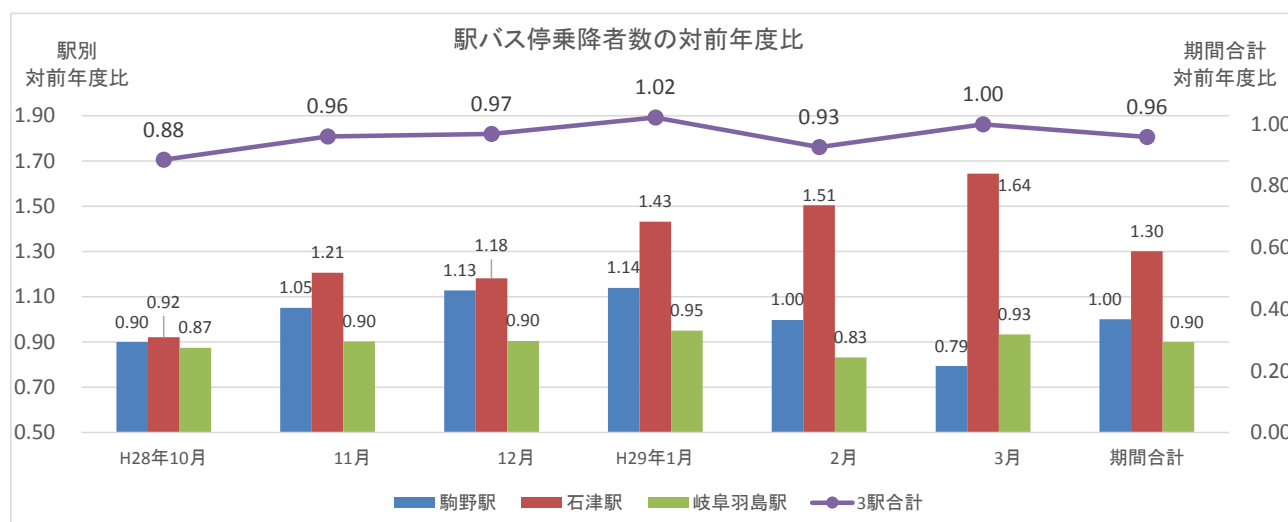
表 総利用者数の前年度比

	3 駅バス停合計 の乗降者数 (人/月)	対前年度比	駒野駅	石津駅	岐阜羽島駅
H28 年 10 月	4,448	0.88	0.90	0.92	0.87
11 月	4,587	0.96	1.05	1.21	0.90
12 月	4,292	0.97	1.13	1.18	0.90
H29 年 1 月	4,805	1.02	1.14	1.43	0.95
2 月	3,839	0.93	1.00	1.51	0.83
3 月	3,596	1.00	0.79	1.64	0.93
合計	25,567	0.96	1.00	1.30	0.90

※乗降者数は、海津羽島線・南幹線・お千代保稲荷線の駒野駅・石津駅・岐阜羽島駅バス停

(2) 駅別の推移

駒野駅は平成 28 年 10 月のダイヤ改正以降、平成 29 年 1 月までは前年を上回っていましたが、3 月にかけて減少しています。石津駅は毎月増加傾向となっています。岐阜羽島駅は、10% 前後の減少が継続しています。



Ⅲ デマンド交通の利用特性

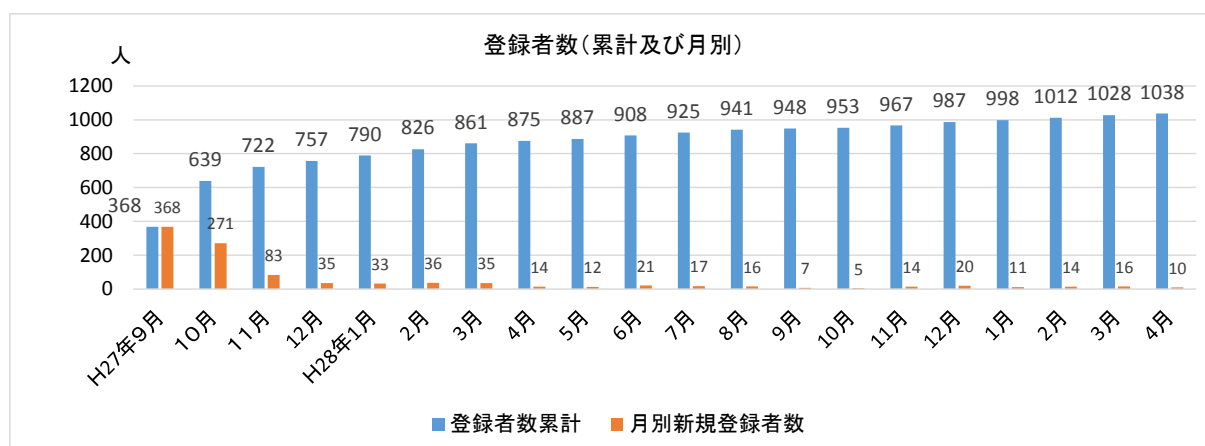
運行開始（平成 27 年 10 月 1 日）以降、平成 29 年 5 月 9 日までの利用実態を整理・分析しました。これまでに報告してきた特性と同様の結果になっています。

なお、予約システムによる予約状況データをもとに整理・分析したもので、実乗車人員とは異なります。

1. 利用者登録状況

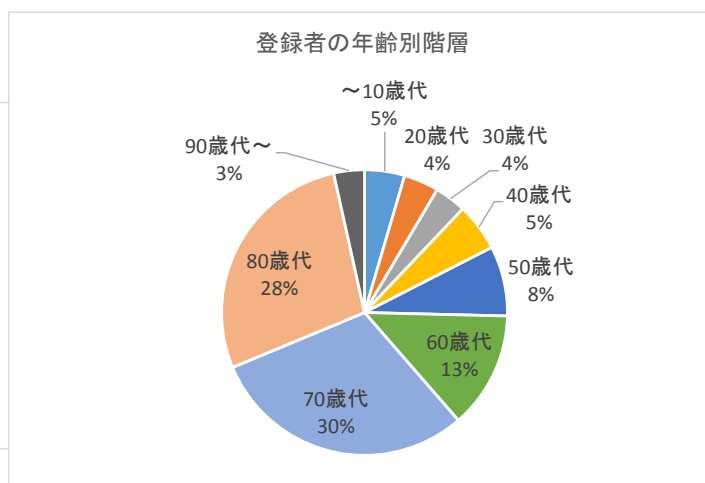
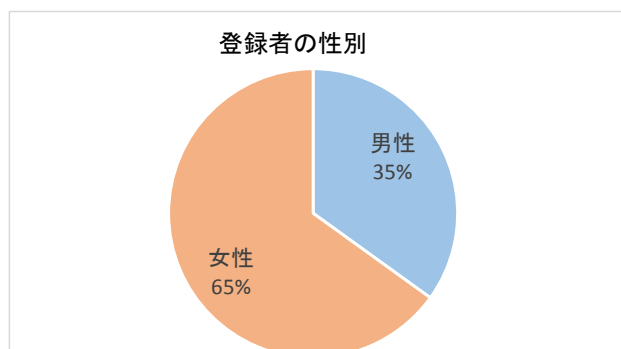
（１）登録者数の推移と実際の利用割合

運行開始（10 月 1 日）前の 9 月に 368 人の登録があり、その後の登録者数は減少傾向ですが、最近では月に 10～20 人の登録があり、平成 29 年 4 月 30 日までに累計で 1,038 人が登録されています。なお、登録しなくても利用できるため、利用者の数とは一致しません。



（２）登録者の属性

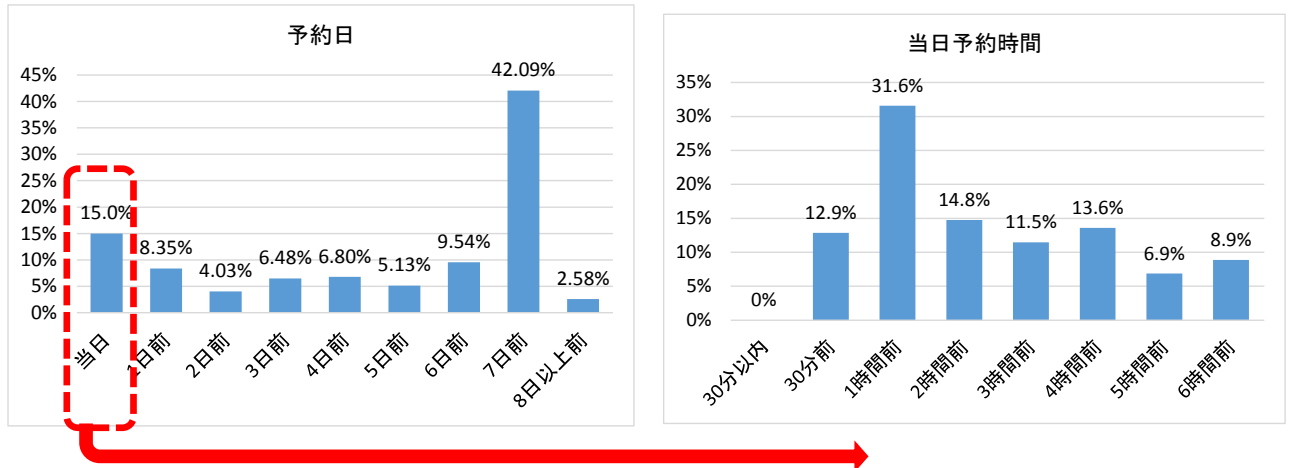
登録者の約 65%は女性であり、年齢別にみると 60 歳以上の高齢者が約 74%を占めています。（平成 29 年 5 月 9 日までの累計）



2. 予約状況

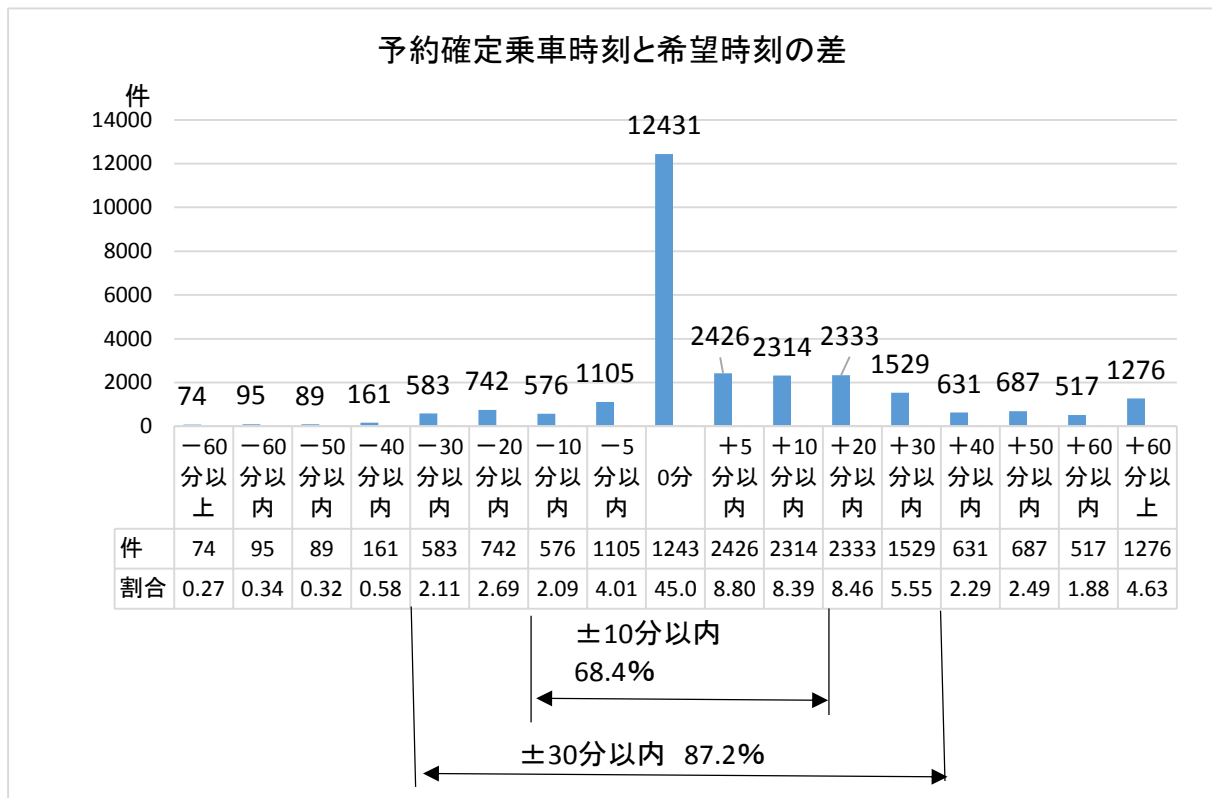
(1) 予約時期

予約日は、運行 7 日前が最も多く、通院予約や定期的な利用が多いものと思われます。次いで多いのは、当日になっており、当日の中では 1 時間前が最も多く、利用時刻がほぼ決まってから予約される方が多いものと思われます。(平成 29 年 5 月 9 日までの累計)



(2) 乗車時刻と希望時刻との差

希望の時刻通りに予約が成立した割合は 45.0%、希望時刻の±10 分以内で予約が成立したのは 68.4%、±30 分以内では 87.2%に達しており、概ね希望時刻通りに予約できているといえます。(平成 29 年 5 月 9 日までの累計)



(3) 予約のお断り状況

予約をお断りした件数は、毎月 100 件以上で推移しています。

その理由について、平成 27 年 10 月以降の半年間ごとの推移をみると、平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月には「希望する時間に車両が空いていなかったため」とする理由が 165 件・31.5%でしたが、その後の半年間では 49 件・6.7%、続いて 27 件・3.8%と徐々に減少しており、効率的な車両運用が行われてきていると考えられます。

予約のお断り件数とその理由

	予約お断り 件数	お断りの理由(件数)			
		希望する時間に 車両が空いてい なかったため	すぐに来てほしい と希望されたが対 応できなかったた め	希望時間が運行 時間外のため	客の都合他
H27年10月	15	15	0	0	0
11月	70	27	1	1	41
12月	69	26	1	1	41
H28年1月	109	35	0	0	74
2月	115	30	1	0	84
3月	145	32	0	1	112
H28年度上期小計	523	165	3	3	352
理由の割合	100.0%	31.5%	0.6%	0.6%	67.3%
4月	151	15	0	0	136
5月	103	4	0	1	98
6月	114	8	0	0	106
7月	117	16	0	0	101
8月	112	4	0	0	108
9月	129	2	0	0	127
H28年度下期小計	726	49	0	1	676
理由の割合	100.0%	6.7%	0.0%	0.1%	93.1%
10月	116	5	0	0	111
11月	103	5	0	0	98
12月	105	7	0	0	98
H29年1月	104	4	0	0	100
年2月	124	3	0	0	121
年3月	151	3	0	0	148
H29年度上期小計	703	27	0	0	676
理由の割合	100.0%	3.8%	0.0%	0.0%	96.2%
総合計	1,952	241	3	4	1,704
理由の割合	100.0%	12.3%	0.2%	0.2%	87.3%

※上記の年度は、H27年10月～H28年9月をH28年度としている。

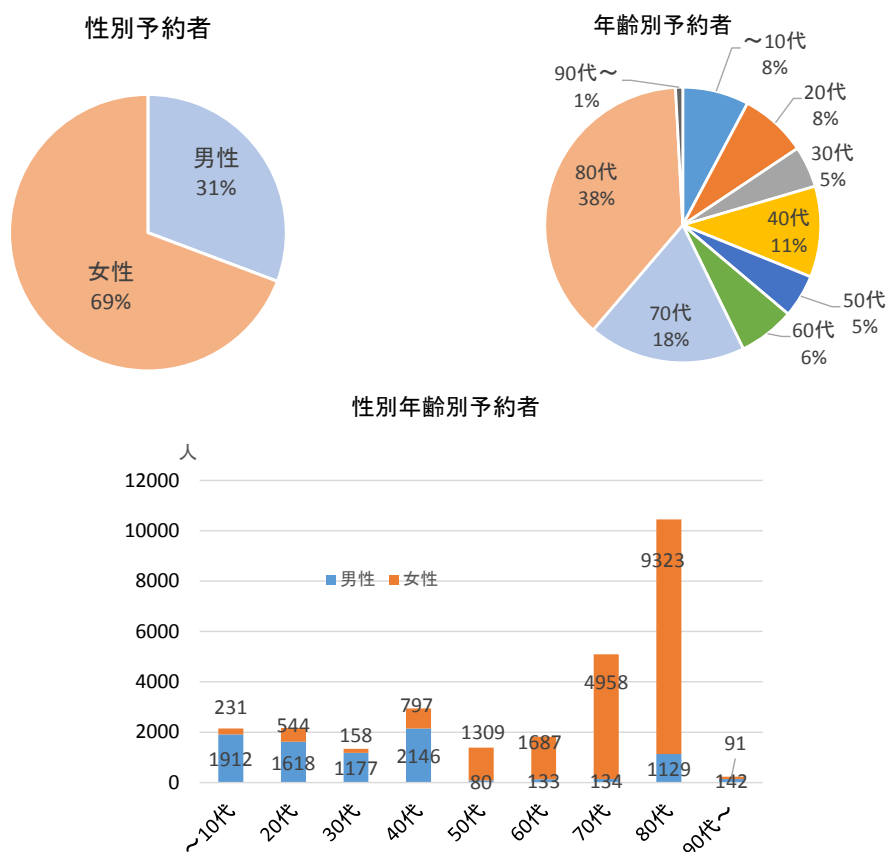
3. 利用状況

(1) 予約者の属性

乗車予約をされている方は、登録者と同様に、女性が約 69%と多くなっています。

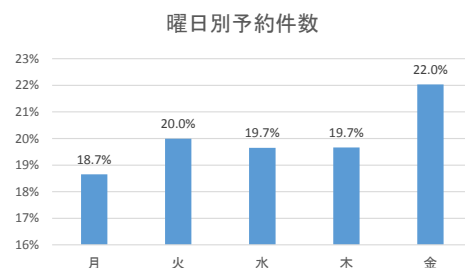
年齢別には、登録者と同様に 60 歳以上の高齢者が約 63%を占めていますが、なかでも 80 歳代の方の利用が多くなっています。

また、性別年齢別にみると、高齢者は女性、40 歳代までは男性の予約が多いことがわかります。(平成 29 年 5 月 9 日までの累計)



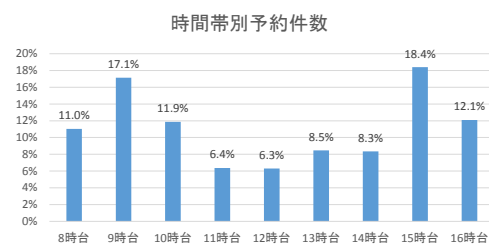
(2) 曜日別予約状況

予約された曜日は金曜日が最も多く、月曜日がやや少ない傾向があります。



(3) 時間帯別予約状況

予約されている時間は、午前中は 9 時台、午後は 15 時台が多くなっています。



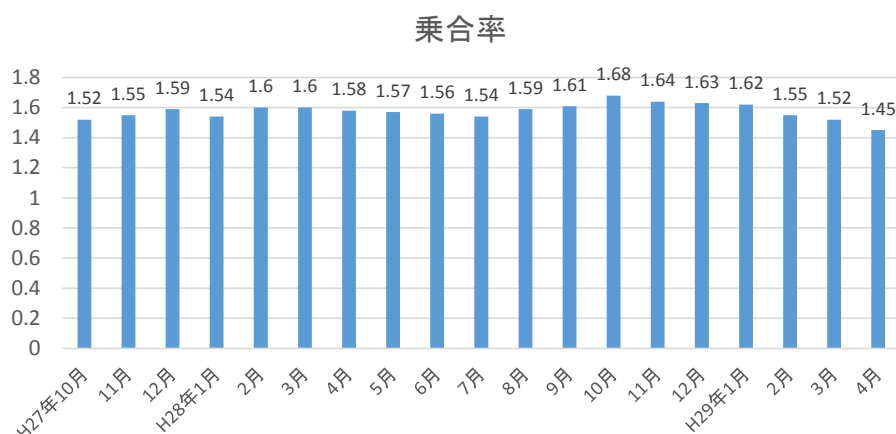
(4) 乗り合わせ状況

1 回の運行（「1 運行」※と定義します。）で複数の予約に対応すれば、乗合区間が発生します。（ここでは、1 つの予約に 2 人以上が同時に乗車する場合は除きます）

この乗合区間の比率（ここでは、「乗合率」※と定義します。）は、1.6 前後であり、1 運行の中の約 60% 程度の区間は 2 つ目の予約に対応している状況になっており、かなり乗合されていることがわかります。

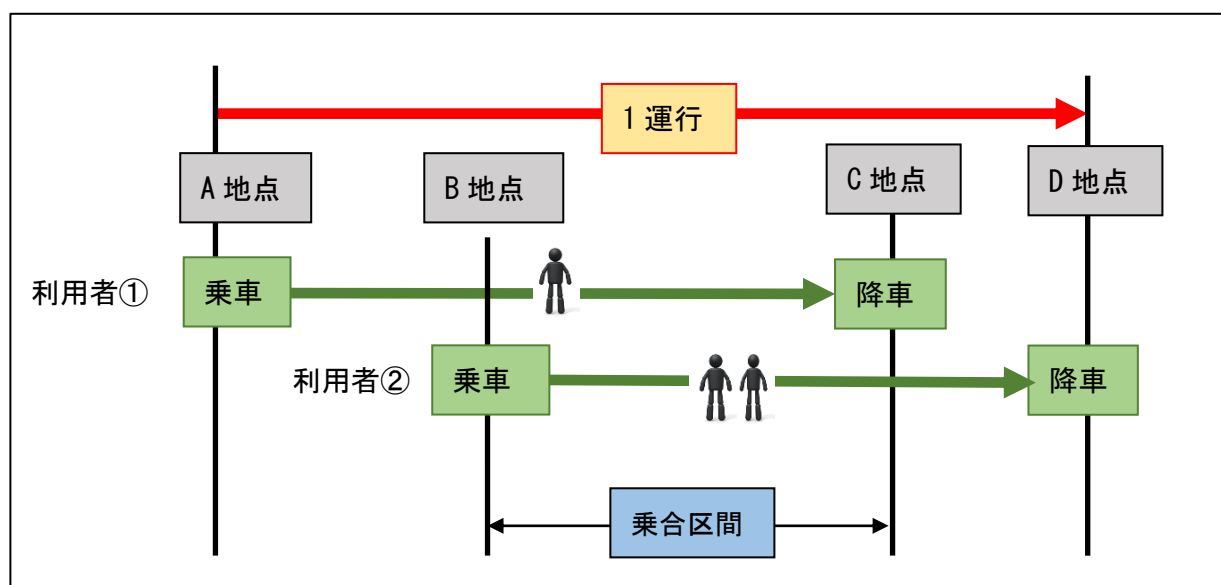
※1 運行：空車のバスに乗客が乗車してから最後の乗客が降車するまでの運行を 1 運行と定義します。

※乗合率：乗車①と乗車②の運行時間合計÷1 運行の運行時間（下図参照）と定義します。



■ 乗合区間の例

（利用者①は、A 地点で乗車し C 地点で降車。利用者②は、B 地点で乗車し D 地点で降車。B 地点と C 地点間では利用者①と②が乗合している）



(5) バス停別利用者数

利用の最も多いバス停は海津温泉であり、次いで松山グリーンハイツ、医師会病院となっています。公共施設、診療所、スーパーなどが上位に上がっており、温泉、通院、買い物目的での利用が多いことがうかがえます。

バス停別乗降者数(上位20箇所)2015年10月～2017年4月累計

